

「with AI」時代 岐大生の実態と課題

「大学における教育とICT・生成AIに関する実態調査 2026」結果レポート

大学生協では、本年4月～5月に組合員の皆様に「大学における教育とICT・生成AIに関する実態調査」を実施いたしました。

岐阜大学生の調査結果 = 学生のICT環境・活用状況の実態を、このレポートで報告します。

調査項目は、下記の5つのブロックに分けて実施。

- 1) 高校時代の ICT 体験実態
- 2) 大学生のパソコン等の購入実態
- 3) 授業と、授業の受け方 実態
- 4) 研究に関わるコンテンツ利用、生成 AI 利用実態
- 5) パソコンスキルの自覚実態

このレポートでは、下記の視点で分析をしています。

■ 大学生の高校時代の実態から「入学時の学習課題」を探る

いわゆる（0 - 1 課題 の仮説）

■ 大学入学後の4年間の ICT機器・生成AI の利用実態から

いわゆる（1 - 4 課題 の仮説）を探る

■ 大学入学後の4年間のパソコンスキルアップ実態から

いわゆる（4 - 以降 課題 の仮説）を探る

学生の学びを支える岐阜大学生協の取り組みも、合わせて報告申し上げます。

■ 2026年 ICT調査項目 ■

1) 高校時代についてお聞きします

高校時代の授業利用PC機器	高校時代のPC使い方
高校時代の授業利用アプリ	共通テスト受験状況

2) 現在お使いのパソコン等の購入についてお聞きします

大学生の情報機器利用	2台持ち利用	
PCの重量	PC購入時期	PC購入先
PC購入先の決め手	購入PCの改善点	
経験したPCトラブル	PCトラブルへの対処方法	
今後の購入予定		

3) 授業と、授業の受け方についてお聞きします

授業でのデジタルデータ配布実態	ノートティキング実態
ノートティキング方法選択の理由	
オンデマンド型授業実態	
教科書の利用状況	教科書利用の今後への期待

4) 研究に関わるコンテンツ利用、生成AIについてお聞きします

生成AI の利用状況	誰が	どの生成AIを	頻度
テキスト生成、画像生成、動画生成、音楽・音声生成			
生成AIを起点にどのような行動、ゼロクリック問題			
ハルジネーション、著作権侵害、個人情報保護の体験、対応行動			
AI 彼氏・彼女、感情共有、AI エージェント			

5) パソコンスキルについてお聞きします

高校時代のパソコンスキル自覚	大学生のパソコンスキル自覚
パソコンスキルの学び方	スキルアップ上昇度 認識
PCによるレポート作成体験	プレゼン体験
身に着けたいスキル	

■「大学における教育とICT・生成AIに関する実態調査 2026」結果概要 ■

「with AI」時代 岐大生の実態と課題

※「with AI」時代とは、ネット検索結果は「AI による概要」表示、ICT 機器 OS にも AI が組み込まれる時代のこと

- ◇ 母集団に対する回収率からは、データの信頼度は 1 年生±5%、上級生全体で±10%、かなり女性にかたよっている。
学部別分析を視野に、アンケート回数数のアップは、引き続き課題。

1) 高校時代の ICT 体験実態

- 高校時代の「自分専用機 保有率は 10% ほど」
- 授業のPCは Windows OS 以外メインが 約40%弱
- 高校授業で MS Office を使用する頻度は、かなり低い
- ※「O-1 課題 の仮設」：大学入学後利用が多くなる Win OS、MS Office 基本操作への不安解消は、入学直後の課題。
(大学入学前後に、中学・高校時代の「再学習」がおすすめ)

2) 大学生のパソコン等の購入実態

- 大学受験後 ~ 入学前に購入 90%台で集中している。
- スマホ+パソコンに、タブレットも併用する学生が増えている。
1 年生のみだと 41.8%/2025 → 54.9%/2026
- 学年が上がるにつれて増える不満点は、下記の3点。
重くて持ち運びが困難、電池駆動時間が短い、動作速度が遅い
- ※「O-1 課題 の仮設」：入学時に「4年間を視野に入れたパソコンの購入基準」を強く意識することが重要。

3) 授業と、授業の受け方 実態

- ほとんどの授業でデジタルデータが配布されている。
- オンデマンド授業は、6割以上が「経験しなくなっている」
- デジタルノートティキнгは、1 年生だけをみると47.2%
デジタルデータの配布が、メインの後ろ盾。
- その一方、紙の教科書が利用されている授業は、70%。
電子教科書への期待は、20% 前後。
- 授業で配布されているデジタルデータを「教科書として」に活用する
「学生の学修スタイル」が定着しつつある。
- 生成 AI を自分のスキルアップに生かそうと学生は模索している。

4) 研究に関わるコンテンツ利用、生成 AI 利用実態

- 「with AI」(95%が身近に AI に触れている) という状況。
- 利用状況は「無料サービス」ChatGPT などが中心。
- 無料版、有料版の差が意識されず、費用効果の知識や実感がない状況がうかがわれる。
- 岐阜大学のMS包括ライセンスで無料利用できる「有料版 Copilot Chat (LLMアクセスのみ)」は、全学で 10.2%ほどが認知。
- 利用の主な用途は、下記のとおり。AI 利用に不安度持つ学生は 4割。「ゼロクリック状況」「AI 彼氏・彼女」は常態化か？

レポート作成・学習	62.0%
個人利用(個人相談)	30.3%
論文作成・研究	13.5%
- 身につけたいスキルとして生成 AI を上げた回答は全学で 31%。
上級生ほど希望は高い傾向にある。

※「O-1 課題 の仮設」：生成 AI を基礎から学ぶ場への要求は高い。

5) パソコンスキルの自覚実態

- パソコンスキルの学び方の結果

ネット利用(生成 AI を除く)	49.2%
生成 AI を利用	20.5%
講座・授業利用	39.9%
友人・家族から教わった	35.1%
- 4/5月 1 年生の 授業レポート作成の体験は、78.1%
- 1 年生の プレゼンの体験は、29.4%程度。
2 年生以上になると70%前後 と急上昇する。
- 1 年生において、「Office」スキルアップへの関心が高く、
上級生になると「プレゼン」、「生成 AI」、「プログラミング」スキルアップへの関心が高い。
- 半数近くの学生がアップを希望している「レポート」、「プレゼン」、「Office」、「英語」スキルアップは、生成 AI を活用することで、学習効果を上げられる可能性は高い。
- ※「1-4 課題 の仮設」：スキルアップ目標にあった、生成 AI 活用スキル情報 と 実習形式で体験できる場の提供が必要とされている。

学生の学びを支える岐阜大学生協の取り組み

< 2026年度までの取り組み >

岐阜大学生協では、4（6）年間の学生生活をささえるために、ICT 活用にかかわり、下記のようなサービス、商品提供をおこなっています。2026年新学期においては、下記のような実績がありました。

■ 1 入学準備活動のサポート

合格発表後、対面、オンラインの入学準備説明会を開催し、
2026年度：のべ915名の新入生の参加をいただきました。

■ 2 大学推薦仕様を満たした学習用パソコンの提供

岐阜大学の「個人用ノートパソコンの準備について」2つの基準にもとづいたノートパソコンの提供をおこないました。
2026年度：のべ504台の利用をいただきました。

■ 3 4年間パソコンを使い続けられる保証・修理サービスの提供

販売するノートパソコンに4年間のメーカー保証と動産保証をつけ、年1回の無料点検会も展開、日常的な修理は、学内の中央店で学生さんの修理を受け付けています。

受付点検後の実修理は年119台となっています。修理実施時には、当日に同等性能のノートパソコン無料貸出しするサービスが「学びをとめない」と好評です。

■ 4 岐阜大学の先輩による「パソコン入門講座」の開催

2026年は、下記3つの講座を開催しました。

短期：レポート作成講座（基礎スキル編） 231名申込

短期：レポート作成講座（実験レポート編） 111名申込

短期：発表スキル講座 180名申込

■ 5 学生自身の目標にあった ICT スキルアップ情報、講座の提供

2026年度は、iPad 活用講座などを開催しました。

< 2027年春へ向けて >

岐阜大学生協では、今回の「大学における教育とICT・生成AIに関する実態調査」結果を踏まえ、2027年度新学期にむけて、下記のような取り組みの強化を検討しております。

岐阜大学の教職員、学生、大学院生のみなさんから、率直なご意見、コメント、アドバイスをいただけると幸いです。

■ 入学時の「卒業までを視野に入れたパソコン購入相談活動」強化

2026年にはいり、パソコンの価格上昇が著しく、入学後パソコンを買い替えることが経済的に困難になっています。

「with AI」時代に学ぶ学生へのアドバイスも強化してゆきます。

■ 先輩による「短期：レポート作成講座」の強化

大学生の高校時代の実態、1年次のレポート提出実態を踏まえ、大学入学後利用が多くなる Win OS、MS Office 基本操作などへの不安解消をはかりたく考えています。

■ 生成 AI を基礎から学ぶ場、ICT 環境の提供にチャレンジします

在学中4（6）年間の学びに、どれだけ生成 AI が活用できるかが、2027年以降は問われる状況にあります。

まずは、生成 AI 活用の基礎スキルが学べ、実習形式で体験できる講座の開催、AI を生かせるPCの提供を検討しております。

「AIに何をやらせて、成果物を受け取り、自分の成長につなげる」そのノウハウを、大学1年生次から学び始め、4（6）年間で経験値快適に上げてから、社会にでてゆけるきっかけと学び続けられる環境提供（AI PC、Copilot+PC の提供など）にチャレンジしたく考えております。

< 2026年度 学生 ICT 調査結果分析結果 >

- ☆ 調査実施時期 2026年4月 日～5月24日
- ☆ 調査対象 全国（大学生協のある大学）の学部生・大学院生
- ☆ 回収数 28,724名（203大学） **うち岐阜大学生は 736名**
- ☆ 調査方法 Webアンケート

2026年は、下記のようなアンケート回収数となりました。

- 1) 2025年の回収数(609)を超えたが、2024年(742)には届かなかった。
2025 10.9% → 2026 12.0%
※ 1年生の回収率は、300を下回った。（ 354 → 329 → 286 ）
※ 上級生全体の回収率を上げることができた。
※ 院生1年生の名簿が一程度整理でき、回収数が上がった。2025 3名 → 2026 57名
※ アンケート回収に17名の教員から個別協力が得られたことは、成果であった。
- 2) 母集団に対する回収率からは、データの信頼度は ±5% となる。
回収数からみる集計結果の信頼度は、1年生±5%、上級生全体で±10%
アンケート回収数は、かなり女性にかたよっている。

	1年生	2年生	3年生	4年生	総計			
工学部	89	51	46	40	226	2,241		
化学・生命工学科	32	12	15	13	72	619		
機械工学科	17	10	10	7	44	578		
社会基盤工学科	12	7	4	6	29	273		
電気電子・情報工学科	25	17	13	8	63	771		
(空白)	3	5	4	6	18			
応用生物科学部	70	20	23	14	127	694		
応用生命化学科	19	3			22	115		
食農生命科学科	22	4			26	117		
生物圏環境学科	22	10			32	102		
応用生命科学課程			4	3	7	177		
生産環境科学課程			11	6	17	183		
(空白)	7	3	8	5	23		総計	
共同獣医学科	11	4	6	2	7	5	35	193

行ラベル	1年生	在籍	回答率	2年生	在籍	回答率	3年生	在籍	回答率	4年生	在籍	回答率	5年生	在籍	回答率	6年生	在籍	回答率	総計	在籍	回答率	修士	博士					
工学部	89	559	15.9%	51	564	9.0%	46	528	8.7%	40	590	6.8%	7			5			226	2,241	10.1%							
応用生物科学部	70	171	40.9%	20	176	11.4%	23	176	13.1%	14	171	8.2%								127	694			18.3%				
共同獣医学科	11	33	33.3%	4	35	11.4%	6	31	19.4%	2	31	6.5%		35	20.0%		28	17.9%	35	193	18.1%							
教育学部	41	238	17.2%	29	233	12.4%	14	231	6.1%	21	264	8.0%								105	966			10.9%				
地域科学部	24	107	22.4%	18	105	17.1%	16	112	14.3%	10	129	7.8%								68	453			15.0%				
社会システム経営学環	4	31	12.9%	5	30	16.7%	3	31	9.7%	4	35	11.4%								16	127			12.6%				
医学科	21	114	18.4%	7	115	6.1%	6	119	5.0%	6	110	5.5%		7	108		6.5%	4	104	3.8%	51			670	7.6%			
看護学科	26	80	32.5%	7	80	8.8%	9	92	9.8%	9	75	12.0%								51	327			15.6%				
大学院																		57			52	5		1,739				
総計	286	1,333	21.5%	141	1,338	10.5%	123	1320	9.3%	106	1,405	7.5%	14	143	9.8%	9	132	6.8%	679	5,671	12.0%	52	5	736				
行ラベル	1年生			2年生			3年生			4年生			5年生			6年生			総計	総計		修士	博士					
回答しない	4			2			3			4									13									
女性	142	523		82	568		65	603		46	572		7	65		6	63		348	51.3%		22	1	371	2,394	42.2%		
男性	140	810		57	770		55	717		56	833		7	78		3	69		318	46.8%		30	4	352	3,277	57.8%		
総計	286	1,333		141	1,338		123	1,320		106	1,405		14	143		9	132		679			52	5	736	5,671			

2024年アンケート回収数

学部	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	総計	回収率	2023年
工学部	130	53	40	35			258	11.6%	2,233
応用生物科学部	54	20	19	14		1	108	15.3%	704
共同獣医学科	10	3	5	6	2	4	30	16.0%	187
教育学部	60	34	26	19			139	14.3%	970
地域科学部	31	12	13	11			67	14.7%	456
社会システム経営学環	8	3	1	2			14	14.9%	94
看護学科	30	10	8	8			56	17.3%	323
医学科	31	10	8	6	2	13	70	10.7%	652
総計	354	145	120	101	4	18	742	13.2%	5,619
回収率	26.8%	10.9%	9.4%	7.1%	2.9%	12.2%	13.2%		
2023年5月在籍者	1320	1328	1271	1416	136	148	5619		

2023年5月在籍者	1320	1328	1271	1416	136	148	5619	
回答しない	7	4	3	3			17	
女性	558	521	559	534	57	48	2277	
男性	762	807	712	882	79	100	3342	
	42.3%	39.2%	44.0%	37.7%	41.9%	32.4%	40.5%	40.5%
	57.7%	60.8%	56.0%	62.3%	58.1%	67.6%	59.5%	59.5%
アンケート回答 女性	187	83	55	56	4	11	396	
アンケート回答 男性	167	62	65	45	0	7	346	
	52.8%	57.2%	45.8%	55.4%	100.0%	61.1%	53.4%	53.4%
	47.2%	42.8%	54.2%	44.6%	0.0%	38.9%	46.6%	46.6%

2025年アンケート回収数

行ラベル	1年生	定員		2年生	24/05 学生数	3年生	24/05 学生数	4年生	24/05 学生数	5年生	24/05 学生数	6年生	24/05 学生数	修士課	博士課	総計	24/05 学生数
工学部	133	510	26.1%	39	559	7.0%	35	540	6.5%	17	530	3.2%				224	2217
応用生物科学部	43	160	26.9%	21	166	12.7%	11	185	5.9%	14	177	7.9%				89	696
共同獣医学科	8	30	26.7%	3	32	9.4%	5	32	15.6%	4	36	11.1%	28	0.0%		20	188
教育学部	60	220	27.3%	16	233	6.9%	18	231	7.8%	23	233	9.9%				117	962
地域科学部	28	100	28.0%	21	104	20.2%	5	106	4.7%	9	115	7.8%				63	449
社会システム経営学環	16	30	53.3%	1	31	3.2%	3	30	10.0%	2	32	6.3%				22	125
医学科	24	110	21.8%	6	117	5.1%	6	117	5.1%	5	109	4.6%	1	105	1.0%	42	650
看護学科	17	80	21.3%	5	80	6.3%	1	81	1.2%	6	84	7.1%				29	321
大学院 教育学															1	1	
大学院 工学研究科															1	1	
総計	329	1240	26.5%	112	1322	8.5%	84	1322	6.4%	80	1316	6.1%	1	133	0.8%	609	5608
行ラベル	1年生			2年生			3年生			4年生			5年生			6年生	
回答しない	3			1			2			3						9	
女性	185			66			47			46						344	2354
男性	141			45			35			31			1			256	3254
総計	329			112			84			80			1			609	5608